

2017年5月23日

現代イギリス社会における多文化共生

米山優子

1. はじめに: 「イギリス」とは

日本で「イギリス」や「英国」と呼ばれる国の正式名称は、「グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国」(United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland)である。「グレート・ブリテン」とは大西洋と北海との間に浮かぶ島の名称で、グレート・ブリテン島とその周囲にある大小様々な島(アイルランド島、マン島、ワイト島、アングルシー島、アラン島、アイラ島、マル島、スカイ島、ヘブリディーズ諸島、オークニー諸島、シェトランド諸島など)を含む群島をブリテン諸島(British Isles)と呼ぶ。グレート・ブリテン島はブリテン諸島の中で最大の島であり、イングランド(England)、ウェールズ(Wales)、スコットランド(Scotland)という3つの行政区分から成る。ブリテン諸島の中で二番目に大きい島がアイルランド島である。国名に含まれる「北アイルランド」とは、アイルランド島北部の6つの州を指す行政区分である。アイルランド島のその他の部分は、アイルランド共和国(Republic of Ireland)という隣国である。つまり、「グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国」は、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドという4つの地域で構成される国家である。イングランド以外の地域では、首都ロンドンにある国会とは別に各地域独自の議会が機能している。



イングランド	面積 130,410 km ² (全体の 53%)	人口 5350 万人 (全体の 84%)
ウェールズ	20,758 km ² (9%)	310 万人 (5%)
スコットランド	78,789 km ² (32%)	530 万人 (8%)
北アイルランド	14,160 km ² (6%)	180 万人 (3%)

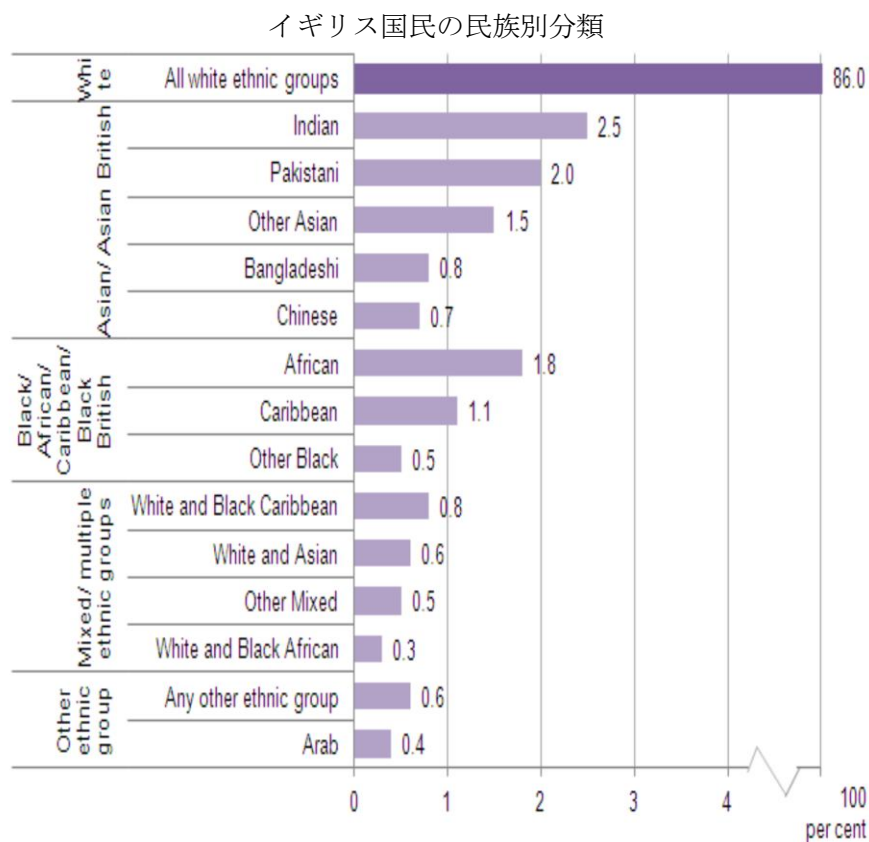
◇イギリスに関する話題—近年の出来事を振り返って

- 2005年～ 相次ぐテロ事件
- 2012年2月 エリザベスII世在位60周年→現在、在位最長を更新中
- 2012年5月 天皇皇后イギリス訪問→イギリス王室と皇室
- 2012年7月 ロンドンでオリンピック開催→国際都市としての存在
- 2013年7月 ウィリアム王子夫妻にジョージ王子誕生→王位継承順位について
- 2014年9月 スコットランド独立の是非を問う住民投票
- 2015年5月 イギリス総選挙→二大政党への支持衰退とその他の政党の隆盛
ウィリアム王子夫妻にシャーロット王女誕生
- 2016年6月 EU残留・離脱を問う住民投票→ヨーロッパ諸国とイギリスとの関係
- 2017年6月 イギリス総選挙

◇授業の構成

- 第1回 イギリス国民の多様な国民意識
- 第2回 ‘Life in the UK’—イギリス国民になるための試験
- 第3回 スコットランド独立を問う住民投票—投票に至るまでの経緯
- 第4回 スコットランド独立を問う住民投票—結果分析と今後の展望
- 第5回 試験とまとめ

2. イギリス国民の多様な国民意識



出典：2011年国勢調査 イギリス統計局
<http://www.ons.gov.uk/ons/guide-method/census/2011/index.html>

白人 (White)

- British 80.5% (45,135,000 人)
- Irish 0.9% (531,000 人)
- Gypsy/ Irish Traveller 0.1% (58,000 人)
- Other White 4.4% (2,486,000 人)

混血 (Mixed/ multiple ethnic group)

- White and Black Caribbean 0.8% (427,000 人)
- White and Asian 0.6% (342,000 人)
- White and Black African 0.3% (166,000 人)
- Other mixed 0.5% (290,000 人)

アジア系 (Asian/ Asian British)

- Indian 2.5% (1,413,000 人)
- Pakistani 2.0% (1,125,000 人)
- Bangladeshi 0.8% (447,000 人)
- Chinese 0.7% (393,000 人)
- Other Asian 1.5% (836,000 人)

黒人系、アフリカ系、カリブ海系 (Black/ African/ Caribbean/ Black British)

- African 1.8% (990,000 人)
- Caribbean 1.1% (595,000 人)
- Other Black 0.5% (280,000 人)

その他

- Arab 0.4% (231,000 人)
- Any other ethnic group 0.6% (333,000 人)

前回の国勢調査 (2001 年) と比較すると、人口が 370 万人増加し、そのうち 210 万人は移民であった。このことと関連して、キリスト教徒が 3,730 万人 (72%) から 3,320 万人 (59%) へ減少した。イギリス以外での出生者は 750 万人 (13%) で、そのうち 380 万人が過去 10 年間に渡英した人々であった。

首都ロンドンの特徴としては、白人が住民全体の半数以下の 370 万人 (45%) であること、キリスト教徒以外の信徒の占める割合が国内で最も高いこと、英語以外の言語を主要言語とする住民の割合が国内で最も高いことなどが挙げられる。

3. イギリス人の国民意識

2011 年の国勢調査では国民意識に関する質問が初めて設けられ、回答者の年齢や経歴、出身地域などによって、そのナショナル・アイデンティティーに様々な違いが見られることが明らかになった。4 つの構成地域にアイデンティティーの拠りどころを求める国民が多い一方で、移民の経歴をもつ国民は「イギリス人」(British)であることを主張する傾向が強い。また、「イギリス人」と出身地域のアイデンティティーなど複数のアイデンティティーを主張する国民も多い。このように多様なナショナル・アイデンティティーの背景を理解する一助として、国勢調査の結果を取材した BBC ニュースを参考資料に用いる。

BBC News 'How British is Britain?' 30 September, 2013

出典 : <http://www.bbc.com/news/uk-24302914>

◇ニュース英語の特徴—口語 (非文法的な表現も含まれる)、同じ内容が違う表現で繰り返される

◇基本的なニュースの構成

見出し→内容の要約→現地からの報告（統計の分析、一般市民へのインタビュー、専門家による解説など）

◇News script

Newsreader: How British is Britain? New analysis of the census reveals that working-age adults are much more likely to say they're British than pensioners. Just over 13% of the over-75s describe themselves as British. And just 14% of white Britons identify themselves as British. Here's our home editor, Mark Easton, with more.

Mark Easton: This is the most English place in England. In the last census, for the first time, people were asked to describe their national identity. And on Canvey Island, eight out of 10 people chose English, the highest proportion anywhere.

Easton: Why England and not Britain?

Man 1: Because I'm English and I don't think Britain is Britain anymore. Britain is three or four different countries now.

Man 2: Look around you. There's so much patriotism. You know, will you get the same patriotism out of the ethnic minorities?

Easton: The census invited people to choose their identity. For example: English or Welsh? Do you see yourself as British or a mixture? The results show in England six out of 10 people say simply English. In Wales and Scotland a similar proportion say Welsh and Scottish. But does that mean that Britishness is dying? Intriguingly, older people are less likely to say they're British than the young. The generation that watched the sun set on the Empire are the least likely of all to say they're Brits.

Man 3: If anybody said, 'Well, what nationality are you?' I would say English.

Woman 1: People who live in Wales and Scotland call themselves Welsh and Scottish, so I feel that I'm English.

Easton: British identity was really a museum piece, how come young people chose it more than their grandparents? The answer to that may be found in the most British place in Britain: Harrow. But it's nothing to do with Winston Churchill's old school. The explanation is diversity. Among those whose ethnicity is white British, only 14% would say their identity is British, while almost half the black population would describe themselves that way. And the most British of all...the Asians. Fifty-six per cent pick British as their sole identity.

Easton: Would you ever say you were English?

Woman 3: I have never said I'm English, no. I'm Brit..., I still class myself as British, Indian.

Woman 4: I think English, you kind of tend to classify that as white ethnic majority, whereas Britain tends to be a bit more multicultural, I would say.

Easton: Scottish bagpipes at an Indian wedding in North London. What could be more British than that? In our increasingly cosmopolitan society, it seems the British identity finds itself quite at home. Mark Easton, BBC News.

◇ニュースの要点

◆移民の経歴をもつイギリス人は、「イギリス人」という包括的なナショナル・アイデンティティーを表明する傾向が強い。

→黒人系イギリス人の半数近く、アジア系イギリス人の 56%が自分を「イギリス人」として捉えるのと対照的に、白人系イギリス人の場合は 14%にとどまる。番組に登場したインド系イギリス人の女性の一人は、「イングランド人」が多数派の白人を指すのに対して、「イギリス人」はもう少し多文化的な要素を含んでいると思うと述べている。一緒に取材を受けた女性も、自分は「イングランド人」ではなく「イギリス人」であると同時に「インド人」であるという出自を意識している。

◆出身地域を選んだ国民の割合はどの地域も平均 6 割程度で大きな差はないが、各地域の調査地によって割合に違いがある。

→イングランドで「イングランド人」としてのアイデンティティーを選んだ人は 60%、スコットランドで「スコットランド人」を選んだ人は 62%、ウェールズで「ウェールズ人」を選んだ人は 58%。

◆世代による国民意識の違い

→年金受給者層（65 歳以上）より就労年齢層（15～65 歳）の方が自分を「イギリス人」(British)として捉える傾向が強い。

～19 歳	20%
20～39 歳	20%
40～59 歳	21%
60～74 歳	16%
75 歳～	13%
(イングランド及びウェールズ)	

◇ヨーロッパ諸国との比較

出典：European Commission, *Standard Eurobarometer 71 Future of Europe*, 2010.
http://ec.europa.eu/commfrontoffice/publicopinion/archives/eb/eb71/eb713_future_europe.pdf

「ヨーロッパ人」(European)であると主張する国民が…
最も少ないのはイギリス(48%)、次いでギリシャ(53%)。最も多いのはスロヴァキア(90%)、次いでルクセンブルク(89%)。EU 加盟国の平均は 72%。

出典：European Commission, *Standard Eurobarometer 83*, 2015.
http://ec.europa.eu/commfrontoffice/publicopinion/archives/eb/eb83/eb83_citizen_en.pdf

自国のアイデンティティーのみを主張する国民が…
最も多いのはイギリス(64%)、次いでキプロス(57%)。最も少ないのはルクセンブルク(17%)、次いでデンマーク(25%)。EU 加盟国の平均は 38%。